令和４年２月14日 資料記者会見 会議録

＜ 開催時間 ＞　　14:00～

＜ 会 場 ＞　　庁議室（ 市役所本館3階 ）

＜ 会見案件 ＞　　令和４年度当初予算案及び令和３年度３月補正予算案の概要について

＜ 出 席 者 ＞　　市長、副市長、総務部長、財政部長、財政課長、都市整備課長、情報統計課長、
新幹線プロモーション課長、ワクチン接種課長、商工振興課長、おもてなし観光推進課長
農政企画課長、スポーツ課長

＜ 発 表 内 容 ＞

【福井市長】

記者会見に先立ちまして、現在、福井県感染拡大警報が発令されており、市内でも連日、新型コロナウイルスの感染者が報告されております。特に学校や家庭での感染が増加しており、誰が感染しても不思議ではない状況が続いております。お一人一人が改めて気を引き締め、「お話はマスク」をはじめとする感染防止対策の徹底をお願いしたいと思います。

さて本日は、「第八次福井市総合計画実施計画の策定について」
並びに「令和４年度当初予算案及び令和３年度３月補正予算案の概要について」発表させていただきます。

まず、第八次福井市総合計画 実施計画についてですが、この実施計画は、第八次総合計画に定める将来都市像 「みんなが輝く 全国に誇れる ふくい」を実現するための、具体的な事業計画として策定したものです。

総合計画に定めた重点方針、政策等を、計画的かつ効果的に推進するため、実施計画では 200の「主要な事業」を定めています。これらの「主要な事業」を推進していくことで、総合計画に掲げた目標の達成に努めてまいります。

「主要な事業」のうち、主な新規事業として、「子ども医療費助成事業」、
「ふくい企業価値向上推進事業」、「ふくい桜マラソン開催事業」、「キャッシュレス決済推進事業」など16の事業を実施します。

さらに、アフターコロナに向けた取り組みとして、デジタル技術やデータを活用し新たな価値を創出するDX（デジタル・トランスフォーメーション）事業として「公共交通ネットワーク構築事業」、スマート農業導入を推進する「園芸総合振興事業」や「稲作総合支援事業」、行政サービスのデジタル化を進める「電子自治体推進事業」など、13事業を実施いたします。

また、2050年のゼロカーボンシティ実現を目指し、温室効果ガス排出量の削減や吸収に繋がるゼロカーボン事業として「シェアサイクル推進事業」、「道路照明LED化事業」、「ごみ処理施設整備・運営事業」、省エネルギー性能を高め、市内公共施設初のZEBReady（ゼブレディー）仕様となる「市立図書館リニューアル事業」など14事業を実施いたします。

以上これらの実施計画を推進していくための、財政的な裏づけとして、財政の見通しを示した「福井市財政計画」を併せて策定しました。この「福井市財政計画」に基づき、健全で持続可能な財政運営と、計画的な事業推進に取り組んでまいりたいと考えております。

なお、実施計画の5年間の計画額は 、総額 1,926億9,900万円であり、いずれの事業も、市民の皆様の安全・安心を守るもの、市民福祉の向上に資するものなど、ハード・ソフト両面において市勢の発展につながる事業でございます。

福井市の輝く未来の実現に向け、今後5年間を本市が大きな飛躍を遂げる重要な期間と位置づけ、職員一丸となって、総合計画に定める将来都市像の実現に向け努力してまいりたいと存じます。

よろしくお願いいたします。

次に、「令和4年度当初予算案及び令和3年度3月補正予算案の概要について」ご説明申し上げます。

令和4年度は、第八次総合計画の初年度となり、新たなステージに入ります。

計画期間中には、北陸新幹線福井開業がついに実現し、ヒトやモノの流れが大きく変わることになります。本市にとっては、新たな時代を切りひらく大転換点となると言っても過言ではありません。

また、新型コロナウイルス感染症は、いまだ収束が見通せない状況にありますが、感染拡大防止に取り組みつつ、アフターコロナの時代を見据え、輝くふくいの未来をしっかりと形作っていく必要があります。

来年度は、総合計画で掲げる将来都市像「みんなが輝く　全国に誇れる　ふくい」の実現に向け、また、ふくいの新しい時代に向け、飛躍への足掛かりとなる、そういった年にしてまいりたいと考えています。

こうした想いを込め、令和4年度当初予算は、『輝く「ふくい新時代」へ飛躍する予算』として、編成いたしました。

それでは、お手元のカラー資料「令和4年度福井市当初予算案資料」の　1ページをお開きください。当初予算のポイントについて、ご説明申し上げます。令和4年度の予算においては、「北陸新幹線開業を控えた　福井の魅力の磨き上げ」、「明るい未来に向けた　安全で豊かな地域づくり」の2つの柱を掲げました。

まず、「北陸新幹線開業を控えた　福井の魅力の磨き上げ」として、「県都のにぎわいづくり」、「ふくいプロモーション」、「交通利便性の向上」、「関係人口の拡大」など、新幹線開業に向けた準備を着実に実行しつつ、また、開業後を見据えた仕上げの段階として、これまで高めてきた福井の魅力のさらなる磨き上げに取り組みます。

具体的な事業といたしましては、2ページに掲載していますが、恐竜王国ふくいを印象付ける仕掛けとして、JR福井駅東口周辺に恐竜のモニュメントなどを設置する「おいでよ！福井駅恐竜プロジェクト」や、イメージロゴ「福いいネ！」を活用した、戦略的かつ効果的な情報発信を行う「ふくいプロモーション事業」、まちなかレンタサイクル「ふくチャリ」について、ICTを活用し無人でも貸出可能とする「シェアサイクル活用促進事業」などに取り組みます。

1ページに戻りますが、2つ目に、「明るい未来に向けた　安全で豊かな地域づくり」として、「子育て・医療支援」や「教育・文化の充実」、「防災・生活基盤の強化」、「産業価値の向上」など、コロナ禍の中にあっても、ふくいの未来が明るいものとなるよう、市民の皆様の生活を安全でより豊かにする地域づくりに取り組みます。

具体的な事業は、3ページに掲載していますが、医療費助成対象を高校3年生相当までに拡大する「子ども医療費助成事業」や、森田・河合の両地区を校区とする新たな中学校の整備を進め、森田小学校の2校化を見据えた「福井市北部地域学校規模適正化事業」、中小企業者の中核を担う人材の育成や、デジタル技術を活用した取組を支援する「ふくい企業価値向上推進事業」などに取り組みます。

さらには、持続可能で健全な財政運営を行いつつ、デジタルトランスフォーメーション、いわゆるDXの推進やゼロカーボンシティの推進といった新たな視点を持ち、各種施策に積極的に反映してまいります。

DXとゼロカーボンシティの推進に関する取組の概要は、4ページに掲載しております。

また、本年度も、若手職員の政策形成能力向上と、柔軟な発想に基づくアイデアを市政に反映させることを目的とする「チャレンジみらい予算」を設定しました。今回は3回目となりますが、若手職員が、前例にとらわれない新しい視点・アイデアで、明るい未来を切りひらき果敢に挑戦する26の事業を採択いたしました。「すまいるバス　イケボイス化プロジェクト」をはじめ、26の事業については、5ページから7ページに掲載しております。

これらの施策に着実に取り組み、大きく展開していくことで、輝く「ふくい新時代」へ飛躍してまいりたいと考えております。

予算のポイントは、以上です。

資料の8ページをお開きください。

本市の令和4年度当初予算の規模は、

一般会計で、1,233億　500万円

特別会計で、722億9,100万円

企業会計で、299億5,800万円
となり、
全会計の総額は、 2,255億5,400万円
となっております。

さらに、令和4年度当初予算と併せて、令和3年度3月補正予算につきましても提案しております。
それでは、予算案の内容につきまして、財政部長から説明いたします。

【財政部長】
それでは、私から、まず当初予算の内容につきまして、ご説明申し上げます。11ページをお開きください。
第八次福井市総合計画の体系に沿って、新規事業や拡充事業などを中心に、ご説明申し上げます。なお、赤いメガホンマークのある事業は、チャレンジみらい予算でございます。

まず、「分野1 快適に暮らすまち」政策1「公共交通を利用して様々な人が便利に行き来できる快適なまちをつくる」です。
「北陸新幹線福井駅 東口 拡張施設整備事業」については、公共交通利用者や福井駅周辺を訪れた方の利便性、快適性向上のため、新幹線駅東側に引き続き「観光交流センター」を整備します。
「越美北線利用促進事業」では、JR越美北線の利用啓発や新規利用者の獲得のほか、北陸新幹線福井開業を見据えた観光利用促進、沿線地域の観光振興を図ります。
「すまいるバス イケボイス化プロジェクト」では、二次交通の移動時間を楽しく過ごせるよう、市内を走る「すまいるバス」の車内放送を人気声優が行います。
「シェアサイクル活用促進事業」では、ICTを活用し、無人でも貸出が可能なシステムの整備を行います。
12ページをお開きください。政策2「まちなかの充実した都市機能により、にぎわいと交流のあふれる心弾むまちをつくる」です。
「市街地再開発事業等支援事業」については、民間主導型の再開発事業などに対して引き続き支援を行い、交流人口の増加、まちなかの賑わい創出を図ります。
「おいでよ!福井駅恐竜プロジェクト」では、「恐竜王国ふくい」を印象づける仕掛けとして、東口駅前広場などに恐竜モニュメントや、恐竜をイメージした照明などを設置します。

次に、政策3「持続可能で強靭な社会基盤と安全で快適な生活環境が整ったまちをつくる」です。
「水防対策DX推進事業」については、大雨による災害から市民生活を守るため、DX推進により、水防業務の効率化と現場対応の迅速化を図ります。
「道路照明LED化事業」および「公園灯LED化事業」では、道路照明灯および公園灯の一部をLED灯に取り替えてまいります。

13ページをお開きください。「分野2 住みよいまち」政策4「地域の魅力を発信して人の流れを呼び込み、持続可能で活気あふれるまちをつくる」です。
「福井とつながる対流拡大事業」については、都市部人材と本市の若手人材が、ともに学び、交流を深めながら、事業化アイデアの創造などに取り組む機会を設けます。
「地域の未来づくり推進事業」では、地域の特色と知恵を活かしたまちづくり事業を支援します。また、ふるさと納税を活用

し、住民が主体となって取り組む地域活動に対して、支援してまいります。

次に、政策5「誰もが尊重され、それぞれの個性や能力を発揮しながら、活躍できるまちをつくる」です。
「国際化推進事業」については、海外姉妹友好都市との相互交流により、市民の国際感覚を醸成します。
「女性活躍応援事業」では、職業生活での女性の活躍を促進するため、ワーク・ライフ・バランスのとれた働き方を推進します。また、女性のキャリア形成に向けた意欲向上を図り、男女がともに活躍できる環境を整備します。

14ページをお開きください。政策6「市民の健康を守り、誰もが夢や生きがいを持って安心して暮らせるまちをつくる」です。
「子ども医療費助成事業」については、令和4年4月から、医療費助成の対象を高校3年生相当までに拡大し、保護者の経済的負担を軽減します。
「HPVワクチン接種推進事業」では、子宮頸がんの原因となるヒトパピローマウイルス感染症を防ぐため、HPVワクチンの接種を行います。
また、ワクチン接種の積極的勧奨差し控え中に、接種機会を逃した方に対しても、無料で接種を行います。
「重層的支援体制整備事業『よりそい』の機能強化」では、相談先が分からないものや複合的な相談等を包括的に受け止め、多機関が協働して支援するとともに、アウトリーチ機能を強化します。また、多様な社会参加に向けた支援など、自立サポートセンター「よりそい」の機能を拡充します。

次に、政策7「環境にやさしい持続可能なまちをつくる」です。
「ごみ処理施設整備事業」については、新たなごみ処理施設の整備に向けて、調整池整備工事を進めるとともに、敷地造成工事、施設の実施設計に着手します。
「解決します！あなたの会社のゴミ問題」では、事業所から出る廃棄物の分別や減量を促進するため、リサイクルに精通するアドバイザーを養成し、市内事業所に派遣します。

15ページをお開きください。政策8「市民・事業者・他自治体等と連携して災害・事故に強い安全・安心なまちをつくる」です。
「除雪対策事業」については、冬期間の安全で安心な市民生活や経済活動の確保を図るため、安定的な除雪体制を整備します。
「消防車両整備事業」では、迅速かつ効果的な消防・救急活動を行うため、消防車などを更新します。

次に、「分野3　活き活きと働くまち」政策9「未来を切り拓く農林水産業のまちをつくる」です。
「水田麦・大豆産地生産性向上事業」については、麦・大豆の生産拡大と収量・品質安定に取り組む産地に対して、団地化の推進や新たな栽培技術の導入などを一体的に支援します。
「越前水仙Rebornプロジェクト」では、圃（ほ）場の土質調査や土壌改良などにより越前水仙の生育促進を図ります。また、市内における需要調査やPRのため、JR福井駅周辺で試験販売や講習会を行い、越前水仙の再生を図ります。

16ページをお開きください。政策10「新たなチャレンジを後押しし、活力と魅力あふれる商工業が発展しつづけるまちをつくる」です。
「ふくい元気『買い福』キャンペーン事業」については、商業者を応援し、地域経済の回復につなげるため、市内の小規模

店などで使用できるデジタルクーポンを発行します。
「ふくい企業価値向上推進事業」では、中小企業者の中核を担う人材育成や、デジタル技術を活用したDXなどへの取組を支援することで、経営課題の解決や生産性の向上を促し、中小企業者の価値向上を目指します。
　次に、政策11「福井の魅力「福いいネ!」を実感できる、おもてなしの心があふれる観光のまちをつくる」です。
「ふくいプロモーション事業」では、福井の認知度向上とイメージアップを図るため、戦略的かつ効果的な情報発信を行います。
「『千歳くんはラムネ瓶のなか』『福いいネ!』コラボ事業」では、ふくいゆかりの作品、愛称「チラムネ」とタイアップした周遊企画を開催し、福井の認知度向上や福井への来訪動機につなげます。

　17ページをお開きください。「分野4　学び成長するまち」
政策12「文化や歴史、自然を、郷土の誇りとして未来につなぎ、個性豊かな魅力あるまちをつくる」です。
「自然史博物館分館ドームシアター事業」については、開館6年目を迎えるセーレンプラネットにおいて、利用者の方が安心かつ快適に施設を楽しめるようドームシアターの機器入替などを行います。
「養浩館庭園アート展示事業」では、冬季の入園促進策として、公募したアート作品の展示事業を開催し、まちなかで歴史と文化芸術に触れる機会を創出します。

　次に、政策13「健やかで自立心をもって未来を切り拓く子どもを育むまちをつくる」です。
「福井市北部地域学校規模適正化事業」については、森田地区における学校規模の適正化を図るため、森田・河合の両地区を校区とする新たな中学校の整備を進めるとともに、森田小学校の2校化を見据え、現森田中学校の増築工事を行います。
「新学校給食センター整備運営事業」では、令和6年4月の新学校給食センターの供用開始に向けて、設計・建設モニタリングや敷地周辺インフラの整備などを行います。

　18ページをお開きください。政策14「市民が生涯にわたり、学習やスポーツに親しめるまちをつくる」です。
「市立図書館リニューアル事業」については、老朽化が進んでいる市立図書館を大規模改修し、地域交流センターを併設する複合施設とするリニューアル工事に着手します。この新しい図書館は、市内の公共施設で初めて、環境に配慮した省エネ効果の高い建築物であるZEBReady（ゼブレディ）を実現するものです。
「フットボールセンター整備事業」では、市スポーツ公園サッカー場に人工芝グラウンド、ナイター照明およびクラブハウスを備えたフットボールセンターを整備します。

　最後に、「総合計画を推進するために」として、「未来につなげる持続可能な行政を運営する」です。
「キャッシュレス決済推進事業」については、市民課窓口においてキャッシュレス決済サービスを導入し、利用者の利便性向上を図ります。
「電子自治体推進事業」については、AIチャットボットの運用による行政サービスの向上や、RPAなどによる業務効率化に取り組みます。

　19ページをお開きください。「国の16カ月予算に連動して編成した令和3年度3月補正予算」です。
これは、国が切れ目のない財政出動のため、令和3年度補正予算を令和4年度予算と一体的に組む「16カ月予算」として編成したことに連動し、本市としても地域経済を下支えするために、令和3年度3月補正予算を編成するものです。

総事業費は、16億3,733万3千円、事業数は、 22件です。 個別の事業につきましては、記載のとおりです。

以上、概括的ではございますが、令和4年度当初予算案の概要につきまして、ご説明を申し上げました。なお、事業内容の詳細につきましては、別添の『当初予算案の概要』をご覧いただきますよう、お願いいたします。

続きまして、3月補正予算案の概要につきまして、ご説明を申し上げます。今回の補正予算案は、新型コロナウイルス感染症対応に関する事業及び国・県の補助金等を活用して行う事業のほか、各事業の精算に伴うものなどについて計上するものです。

それでは、お手元の資料「3月補正予算案の概要」によりましてご説明を申し上げます。
1ページをご覧ください。
補正予算の規模は、
一般会計で、30億7,789万9千円 を
特別会計では、
国民健康保険特別会計で、4億　841万7千円を
介護保険特別会計で、2億　829万6千円を
企業会計では、下水道事業会計で、4億2,100万円 を
それぞれ追加しております。

その事業の内容につきまして、ご説明を申し上げます
6ページをお開きください。第一に、新型コロナウイルス感染症対応に関する事業としまして、感染症の拡大を防止し、併せて生産性向上の取組を促進するため、障がい福祉サービス事業者等のICT導入に係る経費を支援します。
次に、感染症対策のため、保育園等が備品等を購入する際に要する経費を補助します。
次に、保育士の業務負担軽減を図るため、私立保育園等のICT導入に係る経費を支援します。
7ページをご覧ください。感染症対策を図りながら、子どもたちの健やかな学びの環境を確保するため、小中学校の特別教室に空調設備を整備します。
次に、児童生徒の安全安心な学習環境の確保を図りながら、教育活動を着実に継続していくため、感染症対策や子どもの学習保障に必要な物品等を購入します。
次に、新型コロナウイルス感染症の影響を受けた指定管理者に対し、感染拡大防止への協力と安定した施設運営を目的に、支援金を支給します。
8ページをお開きください。これまでの令和3年度の新型コロナウイルス感染症対応に関する補正予算総額、内訳につきましては、記載のとおりです。

9ページをご覧ください。第二に、国・県の補助金等を活用して行う事業として、安全で安心な教育環境を確保するため、校舎等の外壁落下防止対策や老朽化した体育館の改修、学校校庭の改修を行います。
次に、食中毒防止や労働環境の改善を図るため、中藤小学校の給食室に空調設備を整備します。
10ページをお開きください。交通の安全性を確保するため、橋梁の補修や老朽化した道路の舗装打換えを行います。また、全ての人が安心して移動できる歩行者空間を確保するため、歩道の段差や傾斜等の解消を図ります。さらに、幹線道路のネットワークを強化するため、道路の整備を行います。
11ページをご覧ください。流域内の浸水被害を軽減するため、底喰川河川改修の事業進捗を図ります。

また、まちなかの市民の憩いの場である足羽山の魅力向上を図ります。さらに、森林環境の保全のために必要な林道を整備します。
　次に、県が実施する各種土地改良事業に対し、その事業費の一部を負担します。12ページをお開きください。
マイナンバーカード利用によるオンラインでの転出・転入予約手続きを可能とするため、住民基本台帳システムの改修を行います。
　次に、障がい者福祉施設の防災・減災を進めるため、施設整備に要する経費を支援します。

　第三に、その他各事業の精算に伴うものなどの事業でございます。令和2年度決算剰余金を各基金に積み立てます。
13ページをご覧ください。
障がい者の自立を支援する障がい福祉サービスの利用増に対応するため、事業費を増額します。
次に、土地開発基金によって取得した用地を基金から買い戻します。
14ページをお開きください。各事業における国庫補助金等について精算を行い、超過交付分について返還を行います。

　続きまして、お手元の資料「3月補正予算案の概要（その2）」につきまして、ご説明を申し上げます。
　1ページをご覧ください。補正予算の規模は、
　一般会計で、　　1億3,558万6千円　を
　追加しております。
その事業の内容につきまして、ご説明を申し上げます。

　4ページをご覧ください。第一に、新型コロナウイルス感染症対応に関する事業としまして、新型コロナのワクチン接種対象に5歳から11歳までの方が新たに追加されたことに伴い、対象者へのワクチン接種体制を確保します。
　第二に、その他の事業でございます。保育士等に対する処遇改善として、賃金を増額する事業者に対し補助します。また、公立の保育園等に勤務する会計年度任用職員に適用する号給を引き上げます。
　次に、放課後児童支援員等に対する処遇改善として、賃金を増額する事業者に対して委託料を加算します。

　以上、令和3年度3月補正予算案の概要につきましてご説明をさせていただきました。よろしくお願い申し上げます。

　その他としまして、北陸新幹線福井開業2年前イベント「福いいネ！北陸新幹線ウェルカムフェスタ」についてお知らせいたします。2024 年春の新幹線開業に向けた機運醸成を図るため、県内の駅を設置する 4 市が、それぞれの周辺自治体と連携した市民参加型のイベントを開催します。本市は、3月19日　土曜日に、大野市・勝山市・永平寺町と連携したイベントを、福井駅前のハピテラスで行います。内容としまして、食やステージイベントのほか、新幹線クイズラリーなどの体験プログラムや、西武福井店とコラボしたご家族でお楽しみいただけるイベントなどを企画しておりますので、皆様のご来場をお待ちしております。
　なお、このイベントにあわせて、市内のパン屋「パンテス」さんが、イメージロゴ「福いいネ！」のオリジナルパンを作ってくださることになり、イベントの景品として提供する予定です。

　次に、「ランチ・デリバリーで市内飲食店を応援　第2弾」の実施についてです。これは、昨年の夏に続いて2回目の実施となるものです。コロナ禍によって厳しい状況にある飲食店が多い中で、「少しでも事業者の皆様の励ましになれば」との思いから、県の職員とともに、本市職員の有志が積極的にお昼のお弁当の注文を行う取組みです。
　前回の本市職員の実績としましては、7月19日から8月31日までの平日28日間で2，536食を注文し、金額にすると4

00万円近くになりました。今回の第2弾は、本日から3月25日までの、同じく平日28日間で、順化地区などを対象地域として実施するものです。この取組が、飲食店の皆様を少しでも勇気づける一助になればと考えております。

私からは以上です。

＜ 質 疑 応 答 ＞

【広報課長】

それではただ今説明がありました案件につきまして質疑応答を行います。

ご質問される際にはマイクをお渡ししますので、社名、名前の後にご質問をお願いいたします。

【福井新聞】

当初予算の中で、新幹線関連事業について総仕上げと位置付けたとの話があったが、改めて、今後来るまでの2年間どのような事業に取り組み、賑いにつなげていくのでしょうか。

【市長】

数が多いので難しいが、新幹線という移動手段に合わせて、観光という形での取り組みをしっかりと磨き上げていかなければならない。県でも一乗谷朝倉氏遺跡の博物館を建設しています。福井市としてもやれることは何だろうと色々と検討した結果、新幹線の駅舎が広くならないという難題を抱えているが、駅舎の屋根の上が空いているということもあって、新幹線のホームから見える場所に恐竜のモニュメントを設置することを考えています。あわせて県でもさらに西口に恐竜を設置するということも聞いているので、そういった意味での観光資源を活用してやっていかれないかというのが一つの大きなポイントである。それから、福井市では市街地開発事業をやっているので、この2年の間にそれをしっかりとやりあげなければならない。福井のプロモーション事業として「福いいネ！」を色々なものに使っていただくようになってきたが、そういうものを十分に活用して観光、物販にも大きく活用していくことが必要になってくるだろうと思う。近年、福井出身の作家の方なども多く活躍しているので、「千歳くんはラムネ瓶のなか」と「福いいネ！」とコラボして、事業展開を行っていかなければならないと思っています。これが新幹線との関りということになろうかと思います。まだ他にも今回特に考えなければならないのは、ゼロカーボンの問題、DXの問題、こういうものが第八次総合計画の関係もあって、これから一生懸命やっていかなければならない課題だと認識しています。さらに明るい未来に向けてという意味合いからは、子どもの医療費助成事業やコロナの対応についてはしっかりと対応していきます。

【福井新聞】

関連してですが、新幹線関連の事業の中で、民間への再開発の支援や再開発工事エリアの拡大などの本格化が今後見通せます。あわせてコロナ禍の影響も踏まえ、中心市街地の空き店舗が今後も懸念されると思います。今回の予算の中で、中心市街地の賑わい創出維持発展に向けたポイントはどこでしょうか。

【市長】

西武福井店を中心としていろいろな動きをつくっていただいており、一緒にやっていく形での事業展開を行っています。よく新栄の方、電車通りの南側あたりが非常に古くなっているのではないか言われますが、街を作り直す時に一度に全てを整備することはできないため、当然、順序を立ててやっていくことになります。その中でどこをどのように整備していくかということを常に考えながら行わないと難しい計画になると思います。現在、電車通りの北側が出来上がってきて、それにあわせて南側をどのように展開していくかということを、これまでの議論も含めて、考えていかなければならないと思っています。

【福井新聞社 児島】

県の方では、南側エリアの開発も含めた基金について話がありました。市として基金に対する協力など、どのように考えているのでしょうか。

【福井市長】

今、市でも片町のドレスメーカーをリニューアルするという事業展開を行っています。事業展開をするために、基金をつくることも一つの考え方だと思いますが、現在福井市は財政再建化計画中であるため、難しいところです。現在、再開発などで必要な事業については予算等で対応したいと思っています。県とも協議し、検討していく中で支援の方法を整理していく必要があります。

【読売新聞】

2 年先までに 30 億円の財政調整基金積み立ての目標が達成できそうな勢いですが、財政調整基金や財政再建計画について、考えをもう一度お聞かせください。

【福井市長】

財政調整基金は多ければいいというものでもないが、福井市が今保有している財調の基金では、自然災害などの対応には若干少ないということもあり、まず30億という目標にしていました。ただ、最近の自然災害を考慮し、50 億を目標にしようと計画を変更している最中です。

【読売新聞社 長澤】

30億の財政調整基金の積み立ては予定通り達成できるという理解でよろしいのでしょうか。

【福井市長】

達成できると思っております。

【日経新聞社 鈴木】

県都にぎわい創生協議会での再開発の財政支援について、県は12億円の積み立てを予定しているようだが市はトータルの支援額はいくらくらいを考えているのでしょうか。

【福井市長】

具体的には決まっていないが、一つ一つの案件を確認し、金額を決めていくことになると思います。

【日経新聞社 鈴木】

来年度は補正で対応するということでしょうか。

【財政部長】

具体的な案件が出てきたときに補正予算で対応を考えています。

【日経新聞社 鈴木】

アリーナ構想は、今年度の予算でどう対応するのでしょうか。

【福井市長】

アリーナ構想については、予算を持つというところまで具体的な事業計画ができてないので、今年度の予算は特にありません。もし必要なってくるのであれば、補正で対応することを考えています。

【日経新聞社 鈴木】

コロナ禍後の経済復興の一番の目玉は、現状の予算の中ではデジタルクーポン事業になるのでしょうか。

【福井市長】

デジタルクーポン事業は一つの方法だと思っています。アフターコロナの状況がすべて見えていないので、経済復興支援については補正での対応も考えています。

【日経新聞社 鈴木】

現状、飲食店や観光関係の企業が打撃を受けている状況で、市として考えている支援はあるのでしょうか。

【福井市長】

業界が希望する支援と一般的に支援できる範囲、国・県・市町が行う支援等、まだ仕分けが整理されていないと考えてい

ます。

【日経新聞社 鈴木】

チャレンジみらい予算の中で市長が注目している事業をおしえていただけますか。

【福井市長】

査定で若者の意見を聞かせていただいたが、どれも面白い事業だと思っています。通常の事業とチャレンジ未来予算事業と関連する部分があるので、通常の事業の脇を固めるような連携をし、事業を展開していければよいと期待しています。

【財政部長】

ちなみに、市長が査定で一番話を聞かれていたのは、越前水仙Reborn（リボーン）プロジェクトでした。

水仙の生産量がすごく落ちており、それをどのように変えていくかという事業です。また、福井では水仙が 3 パーセントほどしか売られておらず、ほとんど県外に出荷されています。そこで、駅前で販売してみようということで、市長は面白みを感じておられ、どのように行うのかなど、いろいろアイディアを確認していました。

【市長】

福井の先人が工夫して福井の特産品として作り上げてきたものが、無くなってしまうかもしれないという状況だということを聞き、なんとかできないかと色々と議論をしました。

【日経新聞】

チャレンジ未来予算が来年度で 3 年目を迎えますが、これまでの成果についての考えをお聞かせください。

【市長】

大きな予算規模の事業展開ではないためあまり目立たないかもしませんが、大きな事業の脇を固めてくれる事業として、意義のある事業を行ってもらえました。

【県民福井】

今回の当初予算案で、市債残高が 6 年ぶりに増加に転じています。議員全員協議会の際に市長が、「メリハリのつけた」とおっしゃっていましたが、その意図についてお聞かせください。

【市長】

財政健全化計画を作成した際には、ごみの焼却炉、学校給食センター、森田河合地区の学校合併などの問題が明らかに

なっていない部分がありました。しかし、時代の流れの中において、これらの事業を放置するわけにはいかないため、市債に頼らざるを得ない部分があります。また、そのような状況の中で事業を展開していくためには、他の事業展開を制限することなども考えなければならないと思います。

【財政部長】
今回の予算案作成の際には、DX、ゼロカーボンに力を入れました。それらによる将来的な費用削減を考えながら予算案を作成したため、そういった点ではメリハリをつけられたのではないかと考えています。

【県民福井】
西部福井店の売却問題がありますが、市としてはどのように情報収集をしていきますか。また、支援なども県と連携しながらしていく考えはありますでしょうか。

【福井市長】
これまでにも西武福井店の状況については、西武の方とどのように展開をしていくのか、議論してきました。新館部分を無くし、新館にあった店舗を旧館に移転し、飲食店の充実も図るなど、いろいろとやっていただきました。福井市としても、中心市街地について、西武が無くなるとなると、賑わいが出てこないというような状況ですので、是非とも長く経営をしていただきたいと考えています。現在の状況として、詳細はまだ教えていただけていませんので、今後についてはよく話し合う機会を設けながら、対応を考えていくことが必要だと思います。ただ、従来から行政と話合いを行い、経営してきている地方都市の百貨店としては、成果を上げているとも聞いているので、期待をしています。

【NHK】
新年度の予算が過去最大という一方で、財政再建計画の真っただ中でもあると思います。新幹線開業を見据えた積極的な通しもある中で、この両立は難しい部分もあったと思うのですが、どのような想いで今回予算編成を行ったのでしょうか。

【福井市長】
おっしゃっていただいた通りで、そういった意味では財政部長には肝を冷やすような予算査定をしてもらいました。
先ほども申し上げたように、今の時代に何を優先的に選択するかを念頭に予算編成を行いました。ごみ問題や教育の問題というのは、これから先の展開を考えても放置するわけにはいかない問題だと思っています。これらの問題に取り組まなければ、基盤となる福井そのものがうまくいかないというようなことにもなりかねないため、優先順位をつけながら予算編成を行いました。

【NHK】

新幹線開業に関連する予算の編成については、財政再建計画との兼ね合いもいろいろある中での判断だと思いますが、この点についてはどのような想いで編成されましたか。

【福井市長】

新幹線の問題については以前からもある話ですし、議論をしながら進めています。福井市だけでの議論ではなく、多くのところを巻き込んだ議論になっているので、これをそう簡単にひっくり返すわけにはいきません。新幹線開業に関してこれからもしっかりと取り組んでいかなければならないと思っています。

【福井テレビ】

駅前再開発に関して、三角地帯と呼ばれているＡ街区等の具体的なテナントの情報について、教えていただける部分がありましたらお願いします。

【福井市長】

その点については、従来からもお話させていただいているように、事業主体がどこであるかということに関わってくるので、福井市が飛び越えて話をするということは避けたいと思っております。

【福井テレビ】

先ほどもありましたが、西武福井店について、なくなってしまうと、さらに福井の魅力づくりが難しくなってくるのかなと思っていますが、市として具体的にどのように対応していくのか教えていただけますか

【福井市長】

西武福井店がなくなってしまうという問題はありましたので、これまでも西武の方や近辺の方お話をし、今後どのようにしていくかということを議論してきました。また、西武側の考えも含めて共同でイベントを開催したり、あるいは移転を行われたりしていただいているので、これからの展開に期待したいなと思っております。

【広報課長】

他に質問がないようですので、これにて市長記者会見を終了いたします。誠にありがとうございました。